

第1回 NITS 大賞（平成29年度）エントリーシート

【活動名】 授業における ICT の効果的活用と情報モラル教育の推進～教員研修をととして～

解決すべき課題： どのような問題を解決しましたか？

- 市内教職員の、授業での ICT 機器「活用意欲」と「活用率」
- 新任情報教育担当の業務内容への不安や、情報モラル教育の進め方のイメージ不足
- 各校における段階的な機器等の整備の必要性



目的や背景： 解決すべき課題の背景や、活動の目的をおしえてください

本市における、教職員全体の授業での ICT 活用率については、あまり高いとは言えない。その背景にはハード面が充実していないことが大きく影響している。多くの学校が、「3、4学級で1台の大型モニタを共有する」という状況にあるため、活用率が上がらない。日常的な活用を行っていない教師にとって、機器の使用への不安や、他の教員との使用時間の調整等の負担を超えてまでの活用はハードルが高いため、活用から遠ざかっていく教師も多いと予想される。実物投影機のような、簡単かつ効果的な ICT 機器の活用事例の紹介や実体験、各校における段階的な整備のアイデア提供等を教員研修として行っていくことが必要である。

また、東日本大震災以降、被災地域の1つでもあるいわき市においては、保護者の非常時連絡手段の確保意識の高まりから、子ども達の携帯電話所持の低年齢化が進んでいる。各校における情報モラル教育の充実喫緊の課題であり、その充実のためには、各校の情報教育担当者のリーダーシップが重要となる。

活動内容： 何をしましたか？

「研修成果活用部門」については、研修のどのような内容を活用して課題解決につなげたかがわかるように記載して下さい。

教職員研修等（7講座）における講師を務め、課題解決に向けた講義、演習を行った。

- 初任者研修 『ICTの活用について』（36名参加） H28.12.1 実施<80分>
 - 初任者研修 『ICTの活用について』（21名参加） H29.11.16 実施<80分>
- ほぼ同様の内容を実施
- 授業における ICT 活用の有用性を、研修で学んだ「データ」や「活用例」、「実演（模擬授業）」で示し、フラッシュ型教材作成等の演習を通して、研修者が授業の中で使うことができる土台作りにつなげた。
- 研修主任研修（全小中学校研修主任悉皆：106名参加） H29.1.26 実施<75分>
授業における ICT 活用の有用性や、職員研修における普及策を、研修で学んだデータや活用例、実演（模擬授業）で示すとともに、フラッシュ型教材作成等の演習を通して、研修者自身の授業での活用と、校内研修を通じた ICT 活用の活性化につなげた。中でも、フラッシュ型教材の作成演習を校内研修として実施することや、教材準備を複数教員で協力して行うこと等について具体案を示したことは、参加した各校の研修主任に特に好評であった。
 - 情報教育担当研修（新任情報教育担当悉皆・新任以外は希望による受講：35名参加） H29.5.16 実施<120分>
研修で学んだ ICT 活用が効果的に行える環境整備や、情報モラル教育実施のための資料、情報モラル教育の教育課程上の位置付けを考える演習等を活用して、研修者の情報教育担当業務への不安解消と、校内体制整備の土台作りにつなげた。<別添資料1(1)>
 - ICT 活用講座 『フラッシュ型教材の活用』（希望による参加・15名参加） H29.6.23 実施<120分>
研修で学んだフラッシュ型教材の活用例の紹介や、作成・実演の演習を通して、研修者の活用意欲向上につなげた。<別添資料1(2)>
 - 出前講座 『ICT 活用の進め方について』（学校からの要請による出前講座：12名参加） H29.7.14 実施<60分>
研修で学んだフラッシュ型教材の活用例の紹介や、実物投影機を有効に活用した模擬授業の実演を通して、研修者の活用意欲向上につなげた。
 - ICT 活用講座 『実物投影機とタブレット PC の活用』（希望による参加・19名参加） H29.9.19 実施<120分>
研修で学んだ実物投影機の活用例の紹介や、実際の活用演習を通して、研修者の活用意欲向上につなげた。<別添資料1(3)>

活動の成果： それによって、どんな成果が得られましたか？

- ICT 機器の授業での活用前に前向きな教師が増えた。（研修者の変化）
- ICT 機器の授業での活用を生かした校内研修が行われたり、校内で活用の有用性を広めたりする教師が増えた。（研修者の周囲への働きかけ）
- ICT 機器の活用活性化に伴い、各学校での機器の購入が積極的に行われ、長期的展望を見据えた段階的な環境整備につなげることができた。特に、研修に参加した事務職員全員が校内研修に前向きに関わるようになったことは大きな成果であると考えられる。（環境整備への意識：別添資料1(3)）
- 情報教育担当が、自分の職務に自信をもって取り組めるようになった。特に、参加者全員が「自校の情報モラル教育に関わることができた」と答えていることは大きな成果と言える。（情報教育担当者の職能向上：別添資料1(1)）

アピールポイント（アイデア）： もっとも、がんばったこと、注目したことをアピールしてください。

- 研修の中で薩摩川内市立中央中学校 辻校長先生にいただいた「1人の100歩より100人の1歩」という言葉を受け、研修を受講した先生方に自分自身が活用するだけでなく、より多くの先生に活用してもらえることに力を注いでもらうようお願いしたこと。
- 使用場面が意識できるよう、研修において「模擬授業等の実演」や「実際に使用したり教材作成したりする場面」を多く取り入れたこと。毎時間の自身の授業で活用したい、と強く願い、自費で実物投影機を購入した研修者もいた。また、模擬授業が好評だったため、研修後に出前講座の要望も多々いただいた。
- 研修者が各学校に戻って伝達しやすいよう、分かりやすい例えやキャッチコピーを考えて研修で使用したこと。<別添資料2>

例：ICT 機器は赤チョークのようなもの（授業の全てで使うのではなく、指示の明確化や強調したい部分等に力を発揮する）

いつも（I）ちょっと（C）つかう（T）の「ICT」を合言葉に

別添資料

エントリー者 : いわき市総合教育センター 指導主事 菊田 啓希
 応募部門 : 研修成果活用部門 (平成28年度 学校教育の情報化指導者養成研修)

1 効果測定アンケートの結果

研修講座を行った7講座のうち、「(初任者等) 全員参加」ではない研修 = 主に希望者が参加している3つの講座について、研修で学んだことが校内でどのくらい活かされているかの事後アンケートを12月に実施した。

- (1) 情報教育担当者研修 (H29.5.16に研修実施。効果測定アンケートは12月実施)
- ① 情報教育担当者研修に参加したことで今年度の職務に不安が少なくなったと感じる。

A 非常にそう思う	24 %	B 少なからずそう思う	69 %
C あまり思わない	7 %	D 全く思わない	0 %
 - ② 情報モラル教育の自校での取り組み(実施、次年度の計画作成)に関わることができた。

A 非常にそう思う	21 %	B 少なからずそう思う	79 %
C あまり思わない	0 %	D 全く思わない	0 %
 - ③ ICT機器の自校での環境整備に学んだことを活かして取り組めた。

A 非常にそう思う	27 %	B 少なからずそう思う	59 %
C あまり思わない	14 %	D 全く思わない	0 %
 - ④ 自由記述欄から
 - ・ 自校で情報モラル教育全体計画を作成することができた。
 - ・ PC室の環境整備や情報モラル教育の授業実践(研修で提供された資料を活用して)を行うことができた。
 - ・ 多くの教員が、現在校内にある機器を積極的に活用するようになった。
- (2) ICT活用講座①「フラッシュ型教材の活用」(H29.6.23に研修実施。効果測定アンケートは12月実施)
- ① 研修で学んだ「フラッシュ型教材」を実際に今年度の授業の中で活用した。

A 日常的に使用することが多くなった	21 %	B 何度か活用した	29 %
C 1度は使用してみた	0 %	D 今年度中に活用予定である	29 %
E 今年度中の活用予定はない	21 %		
 - ② 「フラッシュ型教材」を他の先生にも紹介した(教員研修や研究授業等)。

A 紹介した	57 %	B 今年度中に行う予定である	7 %	C 紹介する予定はない	36 %
--------	------	----------------	-----	-------------	------
 - ③ 本研修で学んだことは、自身の教材研究や授業力の向上につながった。

A 非常にそう思う	57 %	B 少なからずそう思う	43 %
C あまり思わない	0 %	D 全く思わない	0 %
 - ④ 自由記述欄から
 - ・ 研究授業でフラッシュ型教材を活用した。
 - ・ 学年教師全員で教材の共有を図った。
 - ・ 何度でも活用できるフラッシュ型教材の便利さを実感している。
- (3) ICT活用講座④「実物投影機とタブレットPCの活用」(H29.9.19に研修実施。効果測定アンケートは12月実施)
- ① 研修で学んだ「実物投影機」または「タブレットPC」を実際に今年度の授業の中で活用した。

A 日常的に使用することが多くなった	54 %	B 何度か活用した	13 %
C 1度は使用してみた	0 %	D 今年度中に活用予定である	20 %
E 今年度中の活用予定はない	13 %		
 - ② 「ICT機器を活用した授業」を他の先生にも紹介した(教員研修や研究授業等)。

A 紹介した	80 %	B 今年度中に行う予定である	13 %	C 紹介する予定はない	7 %
--------	------	----------------	------	-------------	-----
 - ③ 本研修で学んだことは、自身の教材研究や授業力の向上につながった。

A 非常にそう思う	67 %	B 少なからずそう思う	33 %
C あまり思わない	0 %	D 全く思わない	0 %
 - ④ (事務職員のみへのアンケート) 自校の機器整備において、本研修の内容は有益だった。

A 非常にそう思う	33 %	B 少なからずそう思う	67 %
C あまり思わない	0 %	D 全く思わない	0 %
 - ⑤ 自由記述欄から
 - ・ 実際に使用してみて、実物投影機の効果を実感した。
 - ・ 模擬授業の実践例紹介がありがたかった。
 - ・ 事務職員から働きかけをして、校内研修を実施してもらったきっかけをいただいた。
 - ・ 事務職員の立場から、校長、教頭、研修主任等と相談をしながら、最善の環境整備につなげていきたい。

2 研修で使用した資料の一部

グループ演習②(情報モラル教育の計画作成)

	1学期	2学期	3学期
中学1年 (小学校 低学年)			
中学2年 (小学校 中学年)			
中学3年 (小学校 高学年)			

例:美術
作品鑑賞にあたり、
それらには著作権が
存在することを指導

ICT活用の底上げは

「1人の100歩」より

「100人の1歩」

ICT活用への心構え①

ICT機器は「赤チョーク」のようなもの

「指示の明確化」「強調部の明示」
「視線の誘導」など 多くの効果

「機器に対する知識」ではなく
「使用場面への理解」が大事

習うより慣れる です

4 終わりに ICT作文)

I (いつも)
C (ちょっと)
T (使う)

を「合言葉」に!!

黒板全てが「赤チョーク」
...ではなく!!

3 研修中の様子

